

特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議 石垣・埋蔵文化財部会(第 51 回)

日時：令和 4 年 9 月 7 日 (水) 13:00～15:00

場所：名古屋市公館 レセプションホール

会 議 次 第

1 開会

2 あいさつ

3 議事

(1) 本丸搦手馬出周辺石垣の修復について <資料 1>

(2) 鵜の首 (小天守西) の水堀側石垣根石発掘調査について <資料 2>

4 閉会

特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議 石垣・埋蔵文化財部会（第51回）

出席者名簿

日時：令和4年9月7日（水）13:00～15:00

場所：名古屋市公館 レセプションホール

■構成員 (敬称略)

氏名	所属	備考
北垣 聡一郎	石川県金沢城調査研究所名誉所長	座長
赤羽 一郎	前名古屋市文化財調査委員会委員長・ 元愛知淑徳大学非常勤講師	副座長
千田 嘉博	奈良大学教授	
宮武 正登	佐賀大学教授	
西形 達明	関西大学名誉教授	

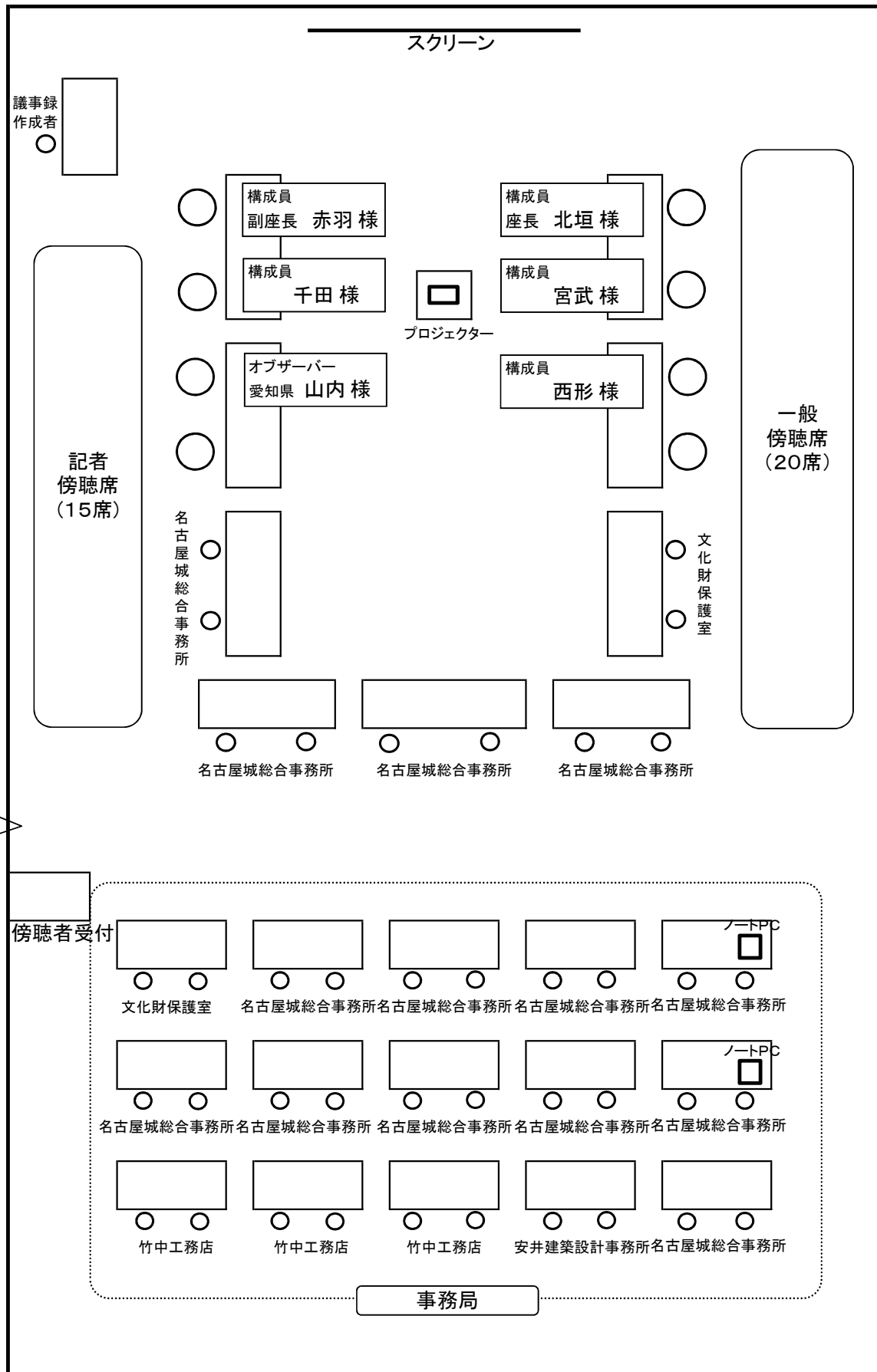
■オブザーバー (敬称略)

氏名	所属
山内 良祐	愛知県県民文化局文化部文化芸術課文化財室

第51回特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議石垣・埋蔵文化財部会

座席表

令和4年9月7日(水)
13:00~15:00
名古屋市公館 レセプションホール



本丸搦手馬出周辺石垣の修復について（現状変更許可申請（案））

●経緯、議事の目的

- 名古屋城本丸搦手馬出周辺石垣の修復については、平成14年度の事業着手以降、石垣取り外し、発掘調査、石材調査及び各種検討等を進めてきた。
- 令和4年度下半期からの積直し工事着手にあたり、積直し工事に関する包括現状変更申請を行う必要があることから、申請内容（案）について、ご指導・ご助言を賜るもの。

●石垣工事にむけたスケジュール（令和4年度）

- 今回の部会でのご意見を踏まえ、10月上旬開催予定の全体整備検討会議に付議し、現状変更許可申請を文化庁に提出して参りたい。

内容	R4年度						
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
申請先		現状変更申請手続き					
有識者会議		★ 全体整備検討会議 ・現状変更申請案（石垣）					
	★ 石垣・埋文部会（第51回） ・現状変更申請案（石垣）			現状変更許可			
工事等業務	実施設計業務委託						
		発注準備、入札手続き		石垣修復工事			

【現状変更許可申請書（概要）】

- 着手及び終了の予定時期
 - ・着手：令和4年12月
 - ・終了：令和9年3月

	和暦	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
	(西暦)	(2002)	(2003)	(2004)	(2005)	(2006)	(2007)	(2008)	(2009)	(2010)	(2011)	(2012)	(2013)	(2014)	(2015)	(2016)	(2017)	(2018)	(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)	(2027)
本丸搦手馬出	解体	調査	調査	解体	解体	解体	解体	解体	解体	解体	解体	解体	解体	調査	調査	対策	対策	解体									
積直し																			計画	計画	計画	設計	積直し	積直し	積直し	積直し	

今回申請

●工事施工内容

○石垣積直し工

- ・背面盛土、裏栗石及び石垣を積み直す。石材については、解体・仮置き時に整理した番号等の石材に関する情報に基づき、元の位置に復旧する。
- ・各種部材は城内の仮置場から積込・運搬を行う。なお、一部の再利用ができない石材については、石質の類似する近隣採石場から入手する。
- ・必要に応じた足場を仮設し、作業を行う。
- ・栗石層及び背面盛土（一部）にジオテキスタイルを敷設する。

○仮設工（仮設足場、作業用通路、仮設スロープ）

- ・石垣の積直しの進捗に応じて、足場の設置・撤去を行う。
- ・作業用通路（本丸搦手馬出北側・東側の水堀に設置済み）及び仮設スロープ（本丸搦手馬出南空堀に設置済み）について、石垣積直しの進捗に応じて当該作業環境が不用となった段階で、撤去・現状復旧を行う。

○雑工（除草）

- ・石垣積直しに先立ち、石垣表面、背面盛土等に生えた雑草等の除去を行う。

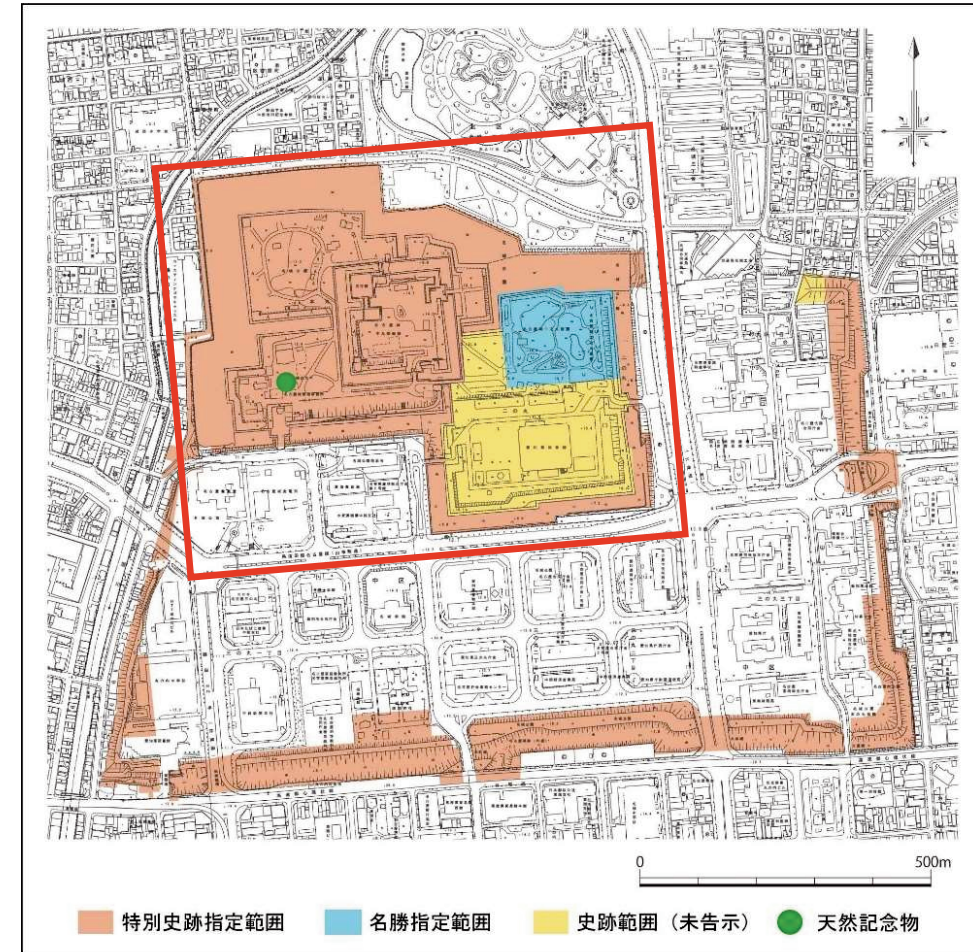
●添付図面

- (1) 案内図
- (2) 記念物指定範囲図
- (3) 施工位置図
- (4) 施工内容図面①～⑦（事業全体）
- (5) 令和4，5年度工程表
- (6) 令和4，5年度施工内容図面①～③

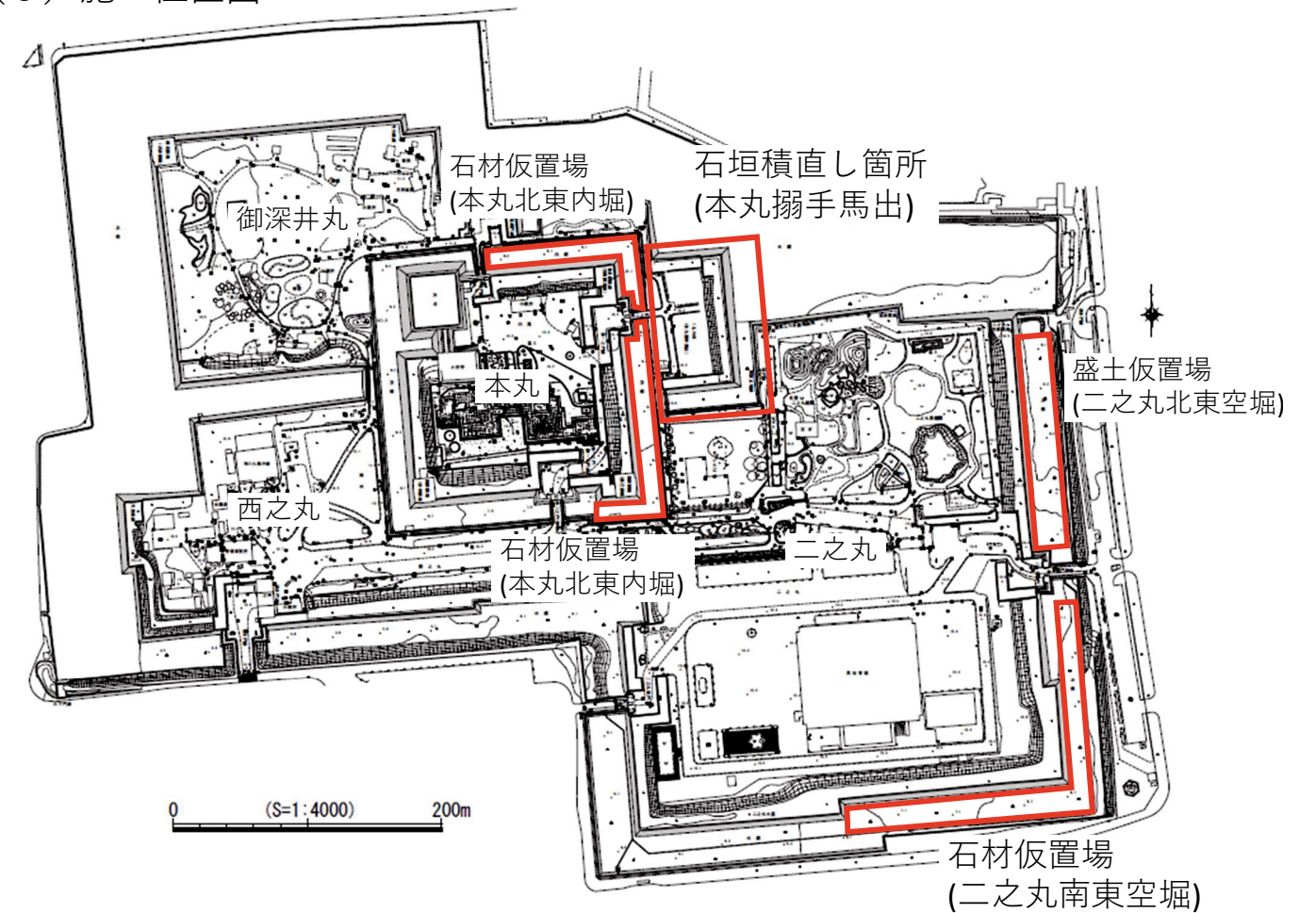
(1) 案内図



(2) 記念物指定範囲図



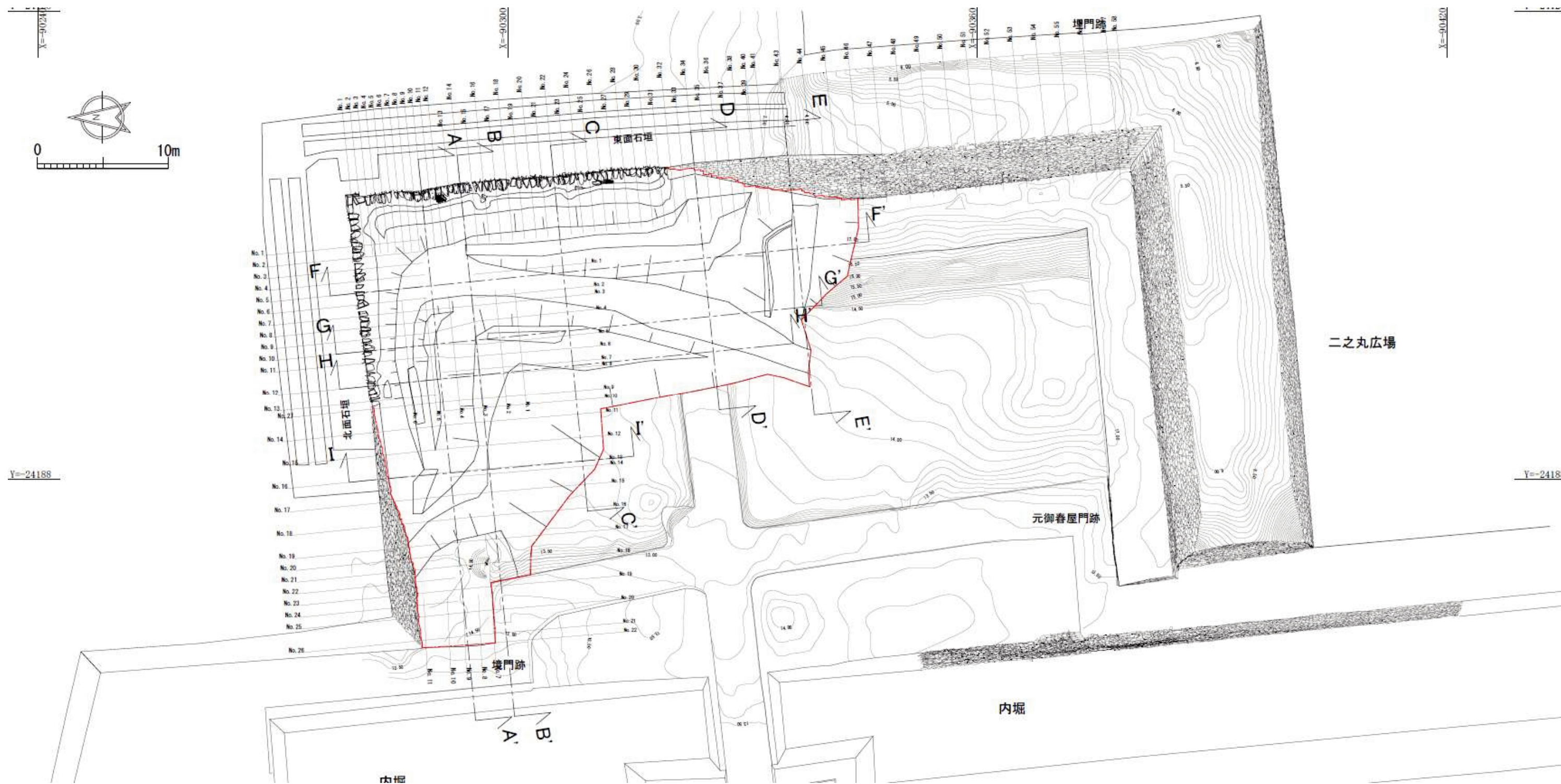
(3) 施工位置図



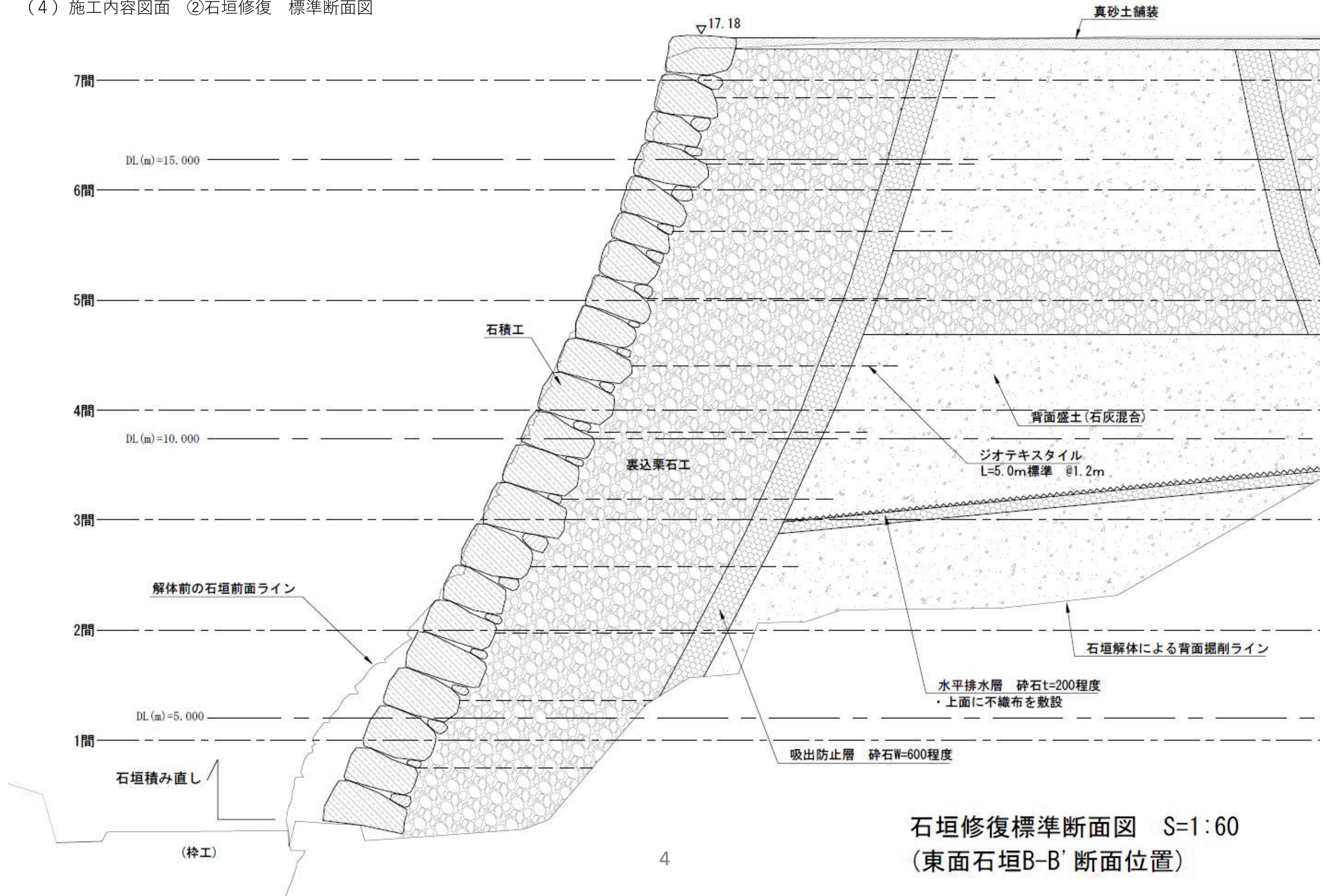
(4) 施工内容図面 ①計画平面図

凡例

— : 本事業範囲

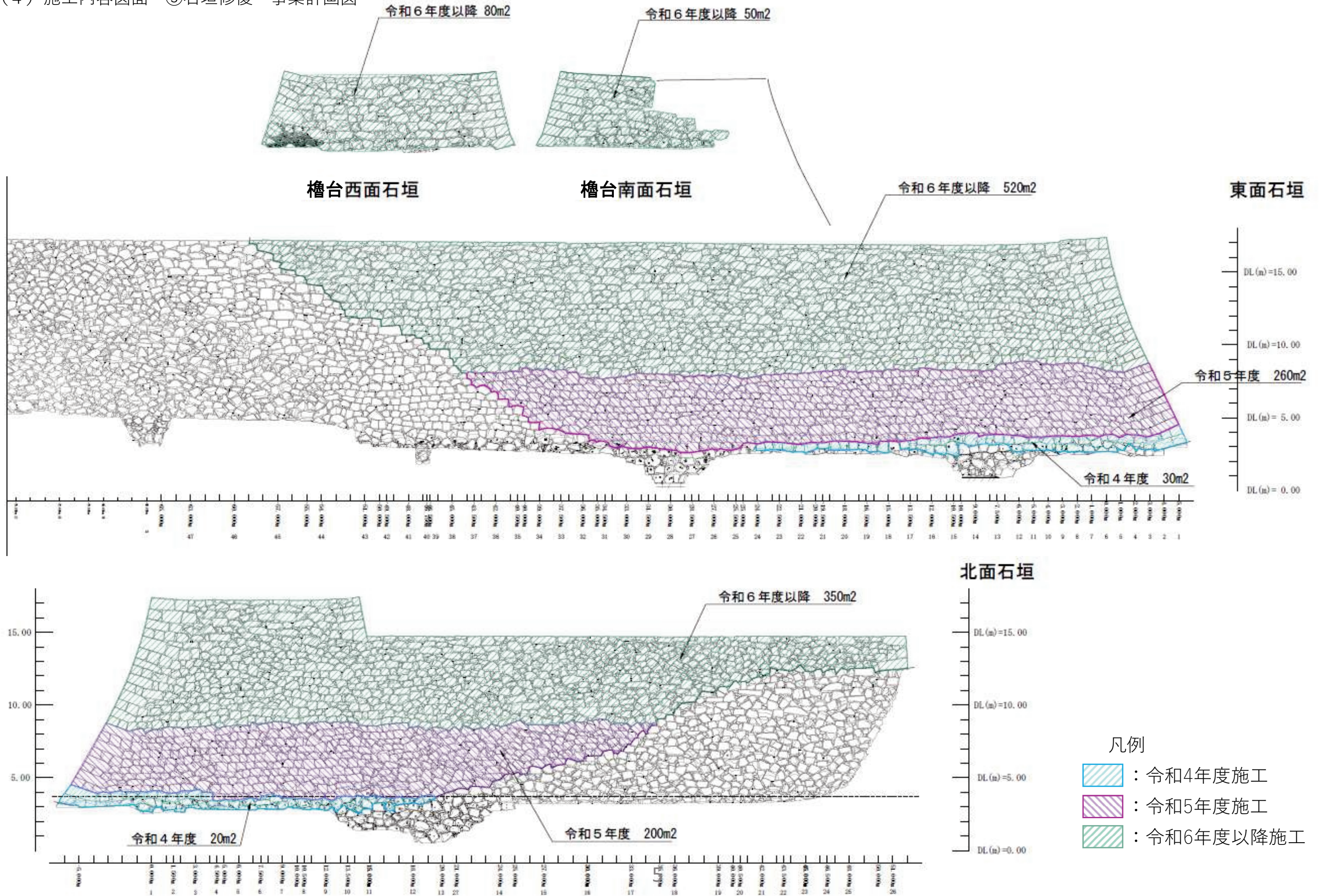


(4) 施工内容図面 ②石垣修復 標準断面図

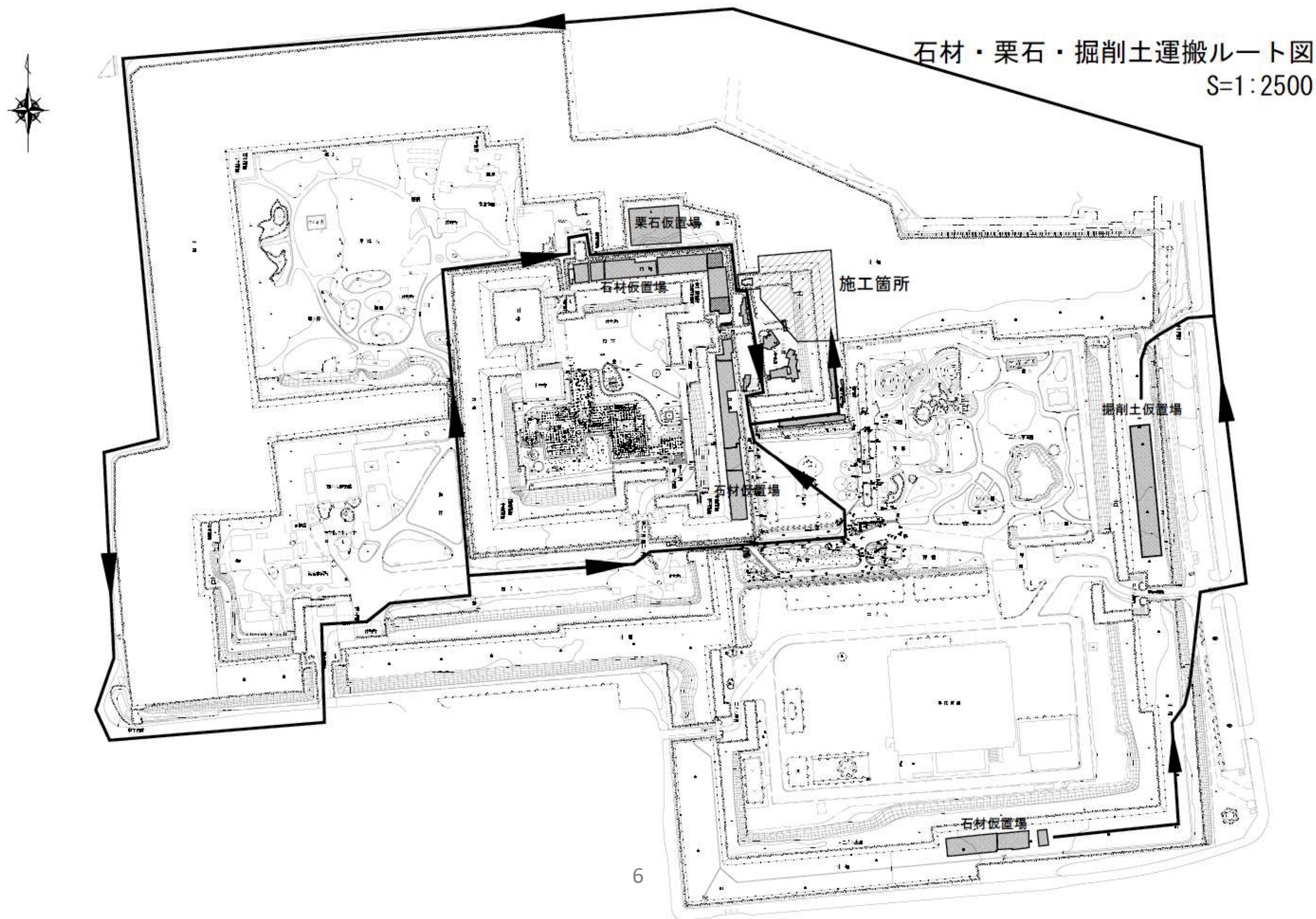


石垣修復標準断面図 S=1:60
(東面石垣B-B' 断面位置)

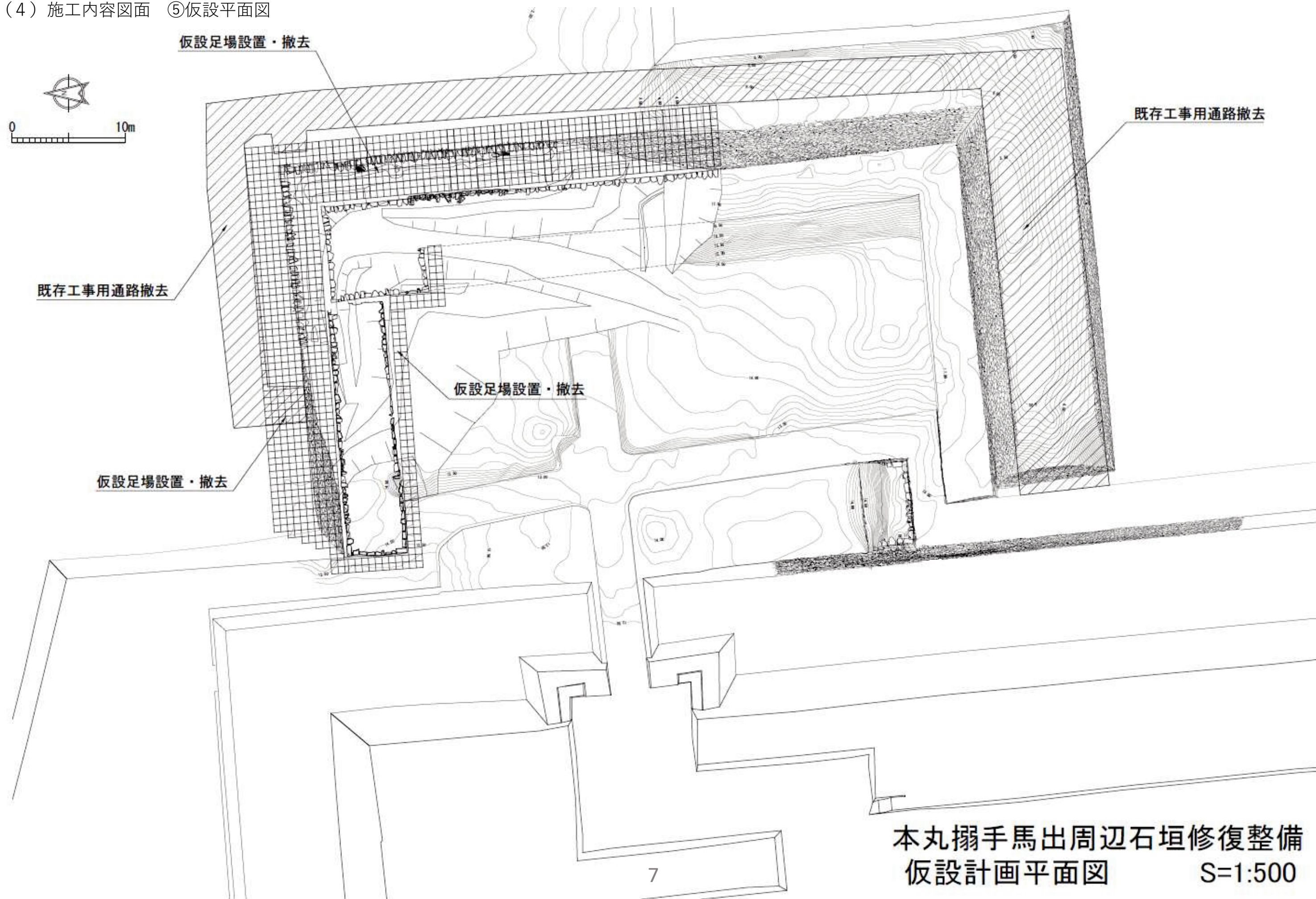
(4) 施工内容図面 ③石垣修復 事業計画図



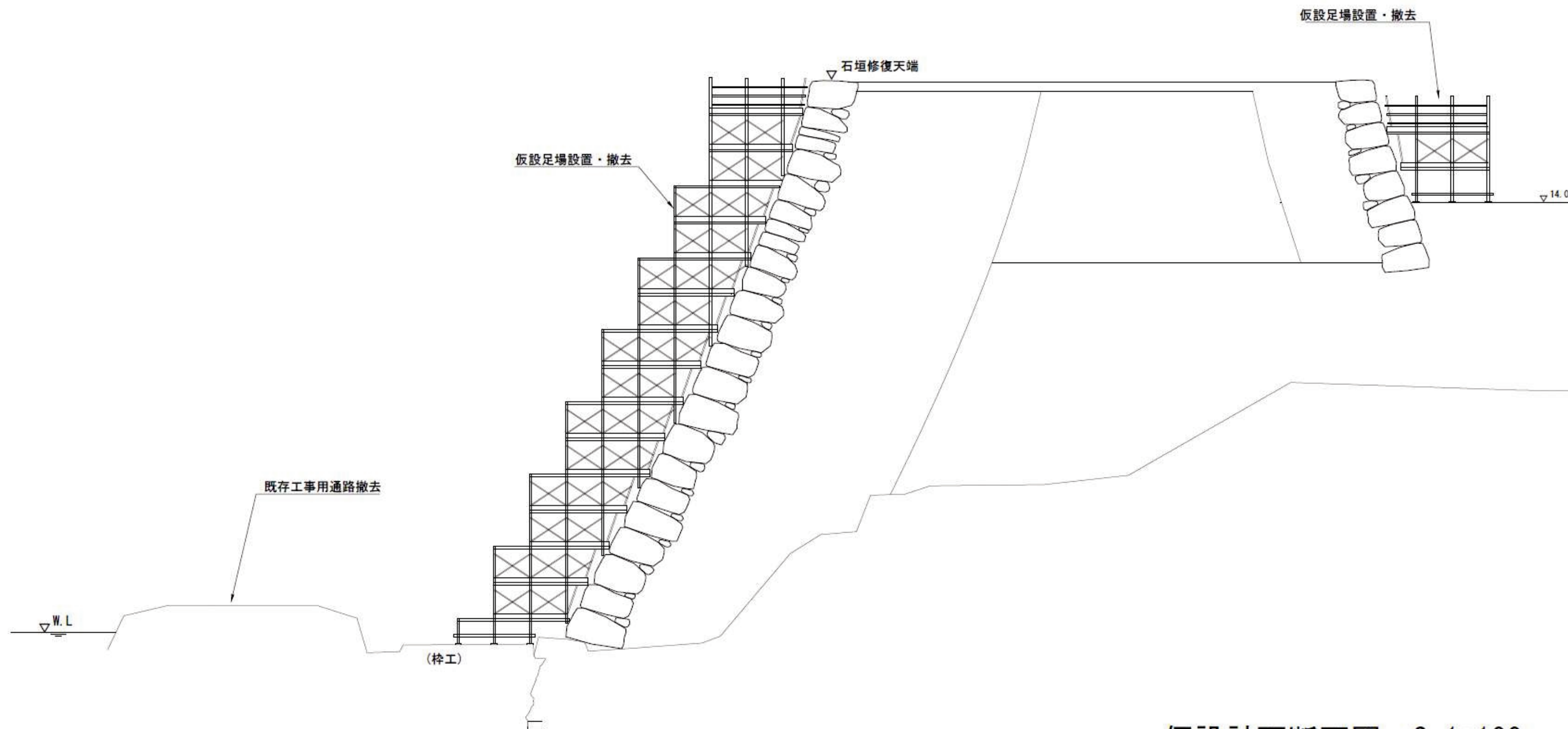
(4) 施工内容図面 ④石材等運搬ルート図



(4) 施工内容図面 ⑤仮設平面図

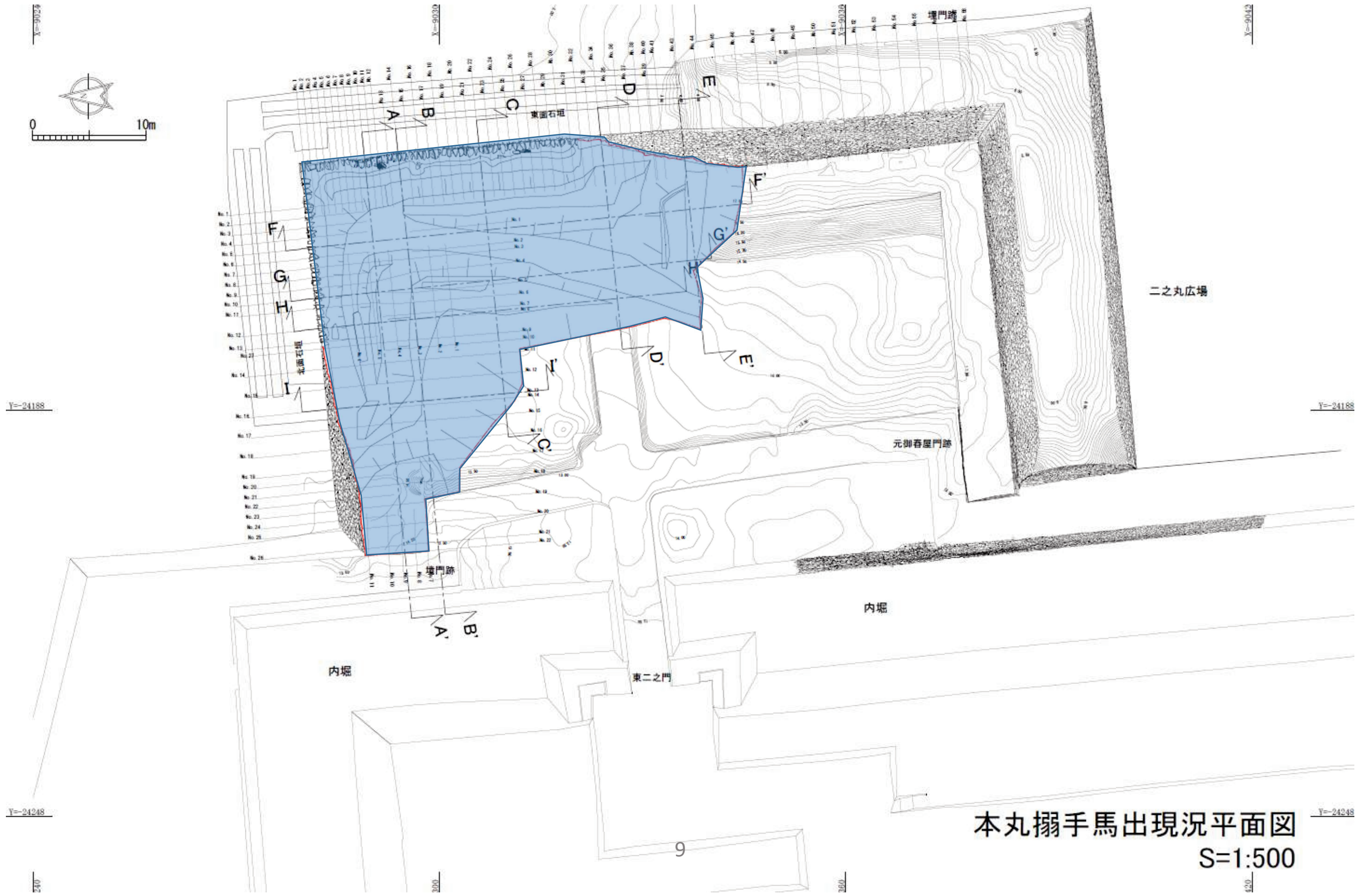


(4) 施工内容図面 ⑥仮設断面図



仮設計画断面図 S=1:100

(4) 施工内容図面 ⑦雑工（除草）平面図



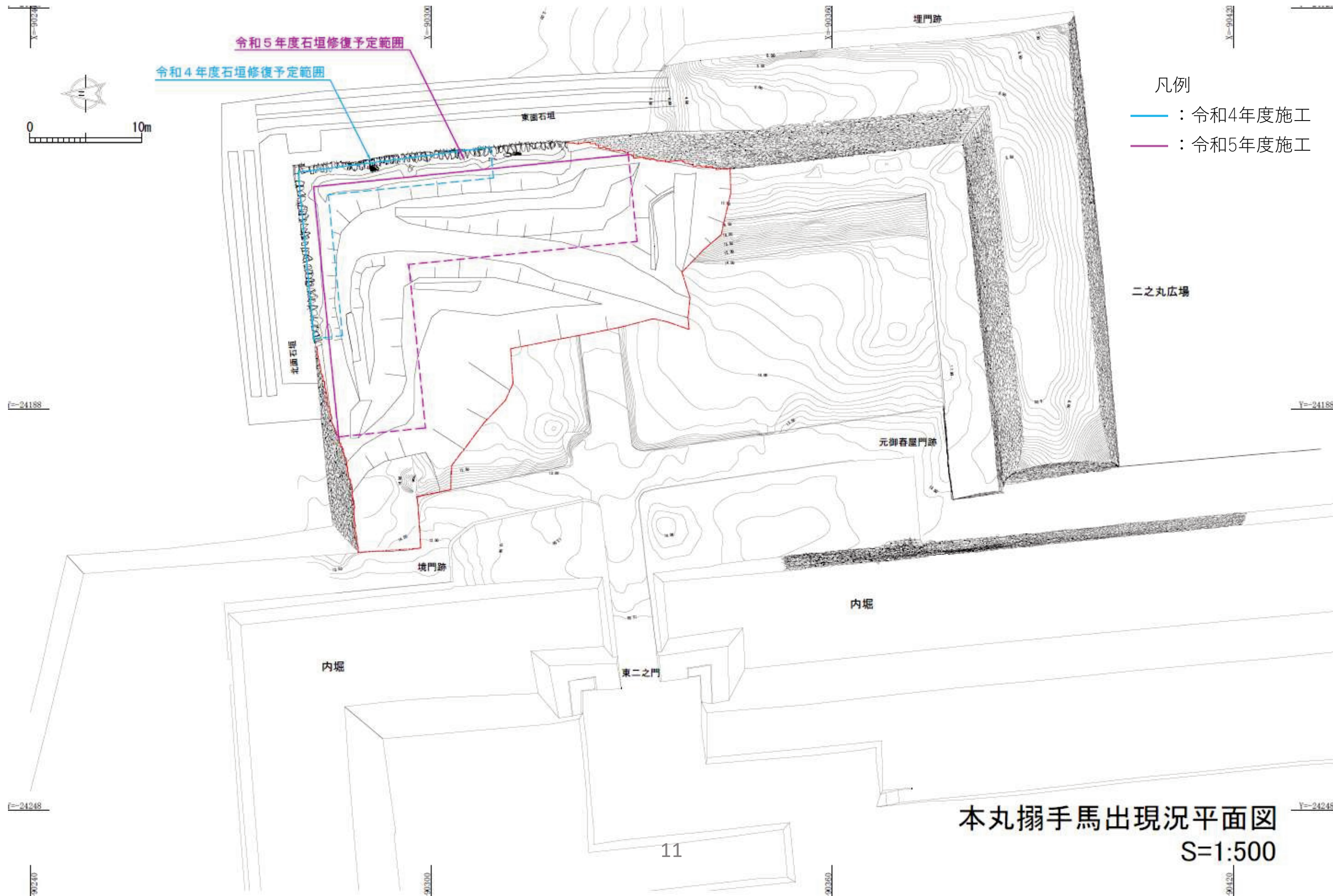
(5) 令和4, 5年度工程表

工種・種別	単位	数量	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	摘要
【仮設工】															
仮設工															
敷鉄板	式	1													
排水工	日	90													
【雑工】															
雑工															
石垣面等除草	a	19													
【石垣積直し工】															
石垣積直し工															
石積工(築石)	m2	51													
石積工(角石)	t	6													
石材運搬整理工(築石)	t	117													
石材運搬整理工(角石)	t	6													
敷金	個	6													
新補石調達															
築石	m2	8													
角石	t	3													
裏込栗石工															
栗石洗浄	m3	130													
裏込栗石工	m3	130													
石垣背面補強工															
石垣背面補強工	式	1													
【準備工・後片付け工】															
準備工・後片付け工															
準備工・後片付け工	式	1													

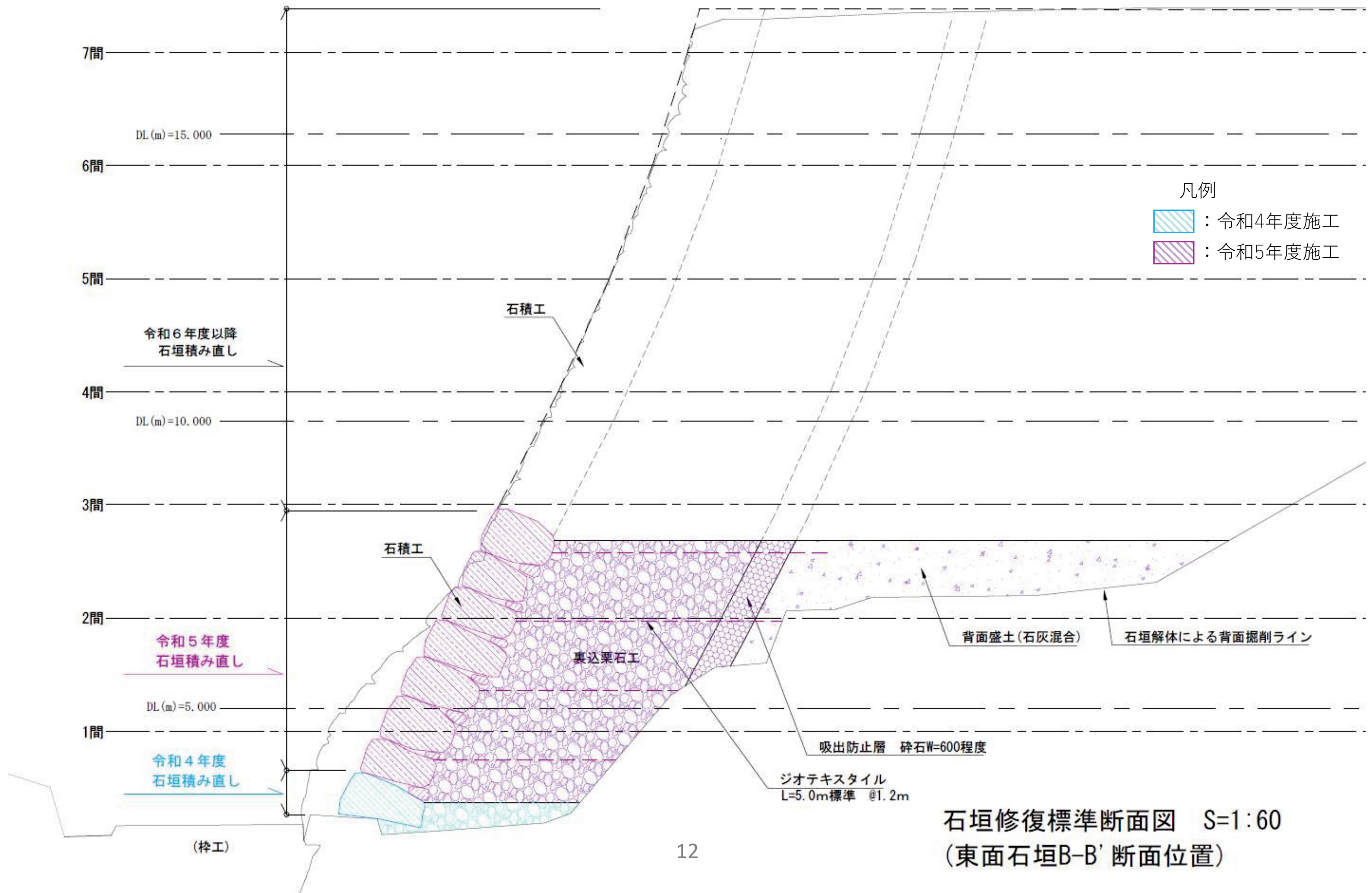
・令和5年度 工程表

工種・種別	単位	数量	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	摘要
【仮設工】															
仮設工															
敷鉄板	式	1													
排水工	日	240													
仮設足場設置・撤去	掛m2	510													
【雑工】															
雑工															
石垣面等除草	a	27													
【石垣積直し工】															
石垣積直し工															
石積工(築石)	m2	462													
石積工(角石)	t	24													
石材運搬整理工(築石)	t	1,063													
石材運搬整理工(角石)	t	24													
敷金	個	27													
新補石調達															
築石	m2	92													
角石	t	3													
裏込栗石工															
栗石洗浄	m3	1,155													
裏込栗石工	m3	2,310													
補充栗石	m3	1,155													
石垣背面補強工															
石垣背面補強工	式	1													
【準備工・後片付け工】															
準備工・後片付け工															
準備工・後片付け工	式	1													

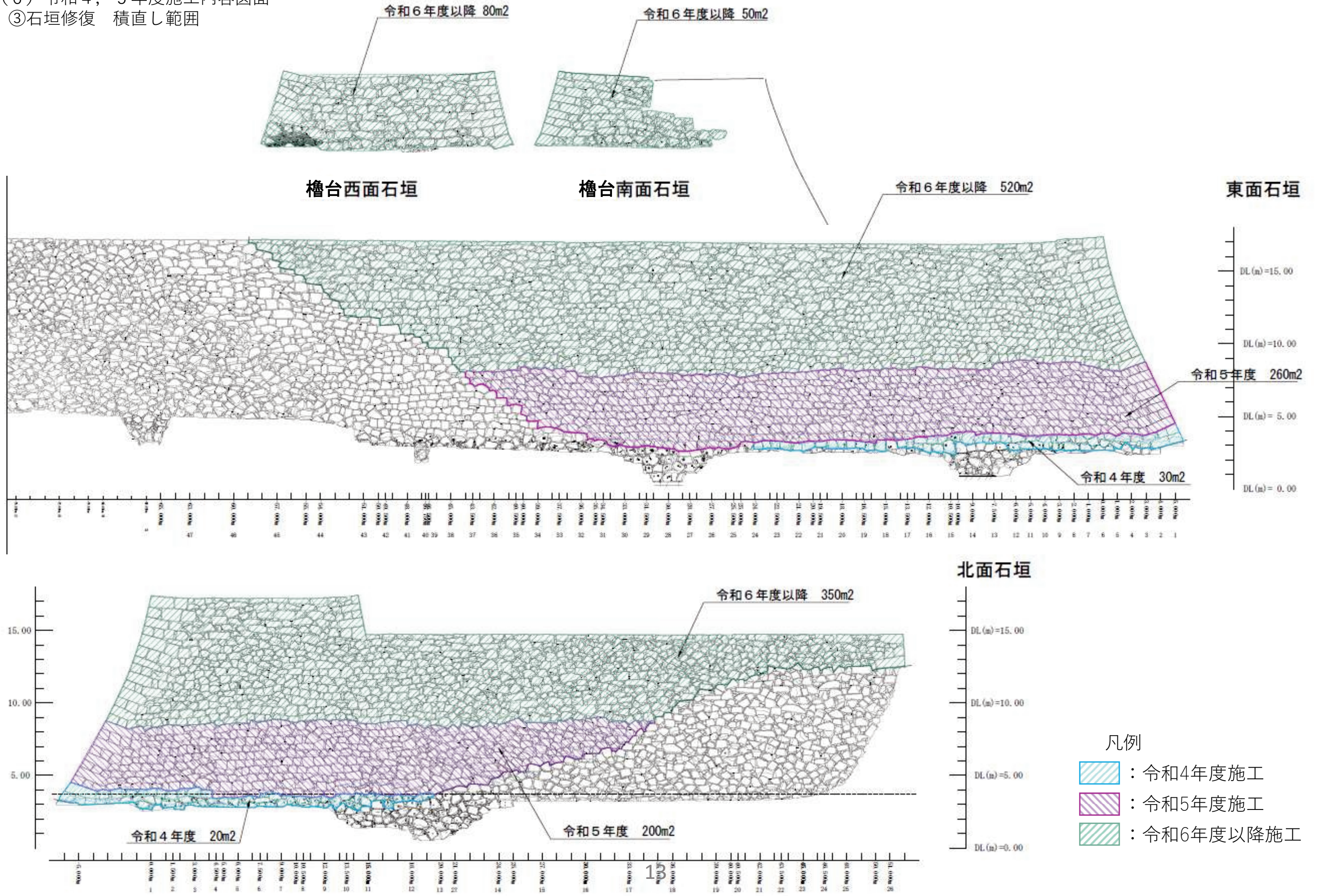
(6) 令和4, 5年度施工内容図面 ①平面図



(6) 令和4, 5年度施工内容図面 ②標準断面図



(6) 令和4, 5年度施工内容図面
③石垣修復 積直し範囲



鵜の首（小天守西）の水堀側石垣根石発掘調査について

●調査計画

- ・鵜の首（小天守西）の水堀側石垣（以下「鵜の首水堀側石垣」という。）の根石の状況等を確認するため、1か所発掘調査を実施する（別添図参照）。

●調査の前提

- ・鵜の首水堀側石垣では、これまでの現況調査によって、堀底付近の築石が、その上位の築石より前方に突出している部分があることを確認している。
- ・この石垣面は、濃尾地震の後に積み直されているため、この突出はその際に生じた可能性があるが、その下にあたる根石部分は確認できておらず、石垣面としての安定性の把握が十分とは言い難い。
- ・また、この鵜の首部分は、来城者の主要な見学動線であり、その安全性確保のためには、石垣面の状況を適切に把握する必要がある。
- ・この調査は令和4年3月24日開催の第48回石垣・埋蔵文化財部会において、現天守閣解体に係る現状変更申請に対する指摘事項への回答について報告した際に、上述のような石垣の状況を踏まえて、根石周辺の調査を実施して、安定性を確認する必要があることを指摘されたものである。

●調査の目的

- ・鵜の首水堀側石垣の安定性の検討材料とするため、上述の築石突出部の根石の変状の有無等を確認する。
- ・また、根石前面の堀底の土層堆積状況等、本来の遺構の残存状況を把握。

●調査区の設定

- ・築石の突出部分の前面において、根石付近の地業等の痕跡も確認できるよう3m×3mのトレンチを1か所設定する。なお、実際の掘削範囲は、この調査範囲を最大とする。
- ・なお、調査範囲内に、石垣面及び内堀底面を対象としたレーダー探査の測線を含むように設定する。

●掘削の方法

- ・人力掘削を基本とする。重機による掘削を行う場合は、表土の掘削に限定して使用する。
- ・層序を確認しつつ掘り下げ、江戸時代の遺構面まで掘削を行う。なお、江戸時代の包含層以下の掘削については、掘削範囲、掘削深等について慎重に判断し、最小限の範囲とする。
- ・水堀に近いこともあり、地盤が緩い状態である可能性を考慮し、掘削に際し、安全に十分配慮する。

●埋め戻しの方法

- ・調査終了後は遺構面を山砂(約5cm)で保護した後、内堀内での調査と同様に、以下の方針で埋め戻す。
- ・石垣際については、割栗石を組み叩き込む。また、栗石の間隙には、改良土(掘削土に消石灰を重量比2%添加したもの)を充填する。
- ・埋め戻しは、上述の改良土により行い、適切に転圧する。

鵜の首水堀側石垣根石発掘調査 調査予 positioning 図 (案)

